

# Bunka Navi 文化ナビ

文化の薫るまちになあれ...  
山陽小野田市文化会館

休館日：第1・第3火曜日

〒757-0002 山陽小野田市大字郡 1754 番地 ☎71-1000 FAX71-1002 E-mail:bunka-kaikan@city.sanyo-onoda.lg.jp

## 山陽小野田市文化振興ビジョンを策定

本市の文化振興の指針を示す文化振興ビジョンが完成しました。

### ○テーマ

「ときめき・ひらめき・かがやき  
～豊かな文化が薫るまち～」

### ○目次

- 第1章 文化振興ビジョンの策定にあたって
- 第2章 文化芸術の振興
- 第3章 文化財の保護・継承とその活用
- 第4章 推進にあたって

### ○計画の閲覧

文化会館、市民館、協働推進課、山陽総合事務所地域活性化室

※市ホームページにも掲載しています。



チケット  
好評発売中!

文化会館に歌舞伎がやってくる!

歌舞伎

おうきょ  
応拳の幽霊

フォーラム公演

7月9日(月) 18:30 開演  
(全席指定)

歌舞伎を楽しむための“豆知識”  
Part 1 ～歴史編～

### 歌舞伎の歴史

歌舞伎の語源は「傾く」からきています。「傾く」とは、派手な衣装で身を固め、逸脱した行動をさし、このような人々を「かぶき者」と呼びました。1603年頃、出雲大社の巫女・阿国が京都で当時珍しい装飾品を身につけ、男装して踊ったのが始まりで、異様奇抜な踊りという意味で「かぶき踊り」と言われました。阿国に続き、女歌舞伎や若衆歌舞伎が生まれますが、風紀上の問題から禁止されました。その後、成人男性がすべての役を演じるようになり、現代の歌舞伎の原点となりました。その後も江戸時代にできた古典歌舞伎から、新劇の要素を取り入れてできた新歌舞伎、現代に登場したスーパー歌舞伎へと時代の変化に伴い、新しいものへと進化を続けています。

※詳しくは、広報「さんようおのだ」4月15日号13ページをご覧ください。



## 文化会館イベント情報

### 6/3 第6回山口県総合芸術文化祭 第7回 洋舞フェスティバル

- ◆とき 開場 12:30 開演 13:00
- ◆ところ 大ホール ◆入場料 1,000円  
(当日券は500円増し)
- ◆入場券販売所 文化会館

### 6/7 おんがくであそぼう

- ◆対象 6か月～1歳2か月前後の乳幼児とその保護者
- ◆とき 10:00～11:00, 11:30～12:30
- ◆ところ 小ホール
- ◆参加料 500円(当日徴収)
- ◆持参するもの  
バスタオル、キルトマットなど
- ◆申込方法 初めて参加される人は電話にて事前に申込み

### 6/9 第8回0歳からのファミリーコンサート 休日昼下りのティータイムコンサート Vol.8

- ◆とき  
ファミリーコンサート 開演 11:00～  
ティータイムコンサート 開演 14:00～
- ※開場は、いずれも30分前です。
- ◆ところ 小ホール
- ◆演奏者 ピアノデュオ DUO ARTE ANIMI  
ミュージック&アース国際音楽コンクール  
グランプリ受賞(2012ブルガリア)
- ◆入場料  
ファミリーコンサート 500円  
ティータイムコンサート 800円
- ◆入場券販売所  
文化会館、市民館、協働推進課

### 6/10 東日本大震災チャリティーコンサート 山口県交響楽団演奏会

- ◆とき 開場 13:00 開演 13:30
- ◆ところ 大ホール
- ◆演奏曲目 ラコッツィ行進曲(ベルリオーズ)、フィランディア(シベリウス)、オーボエ協奏曲 第1楽章(モーツァルト)、ワルツ～眠れる森の美女より～(チャイコフスキー)ほか
- ◆入場料 500円(高校生以下は無料)